

平成 27年 05月 22日

国土交通大臣 殿

## 地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

次世代快適住宅「幸せな家」

グループの名称

次世代快適住宅を考える会

直近採択グループ番号

04-0308-0037

※過去に地域型ブランド化事業で  
採択を受けたグループは記入

(グループ代表者)

代表者名

林崎 文雄

代表者印

代表者所属先

林崎建設 株式会社

代表者構成員番号

VI-2

代表者所在地

岩手県九戸郡野田村大字野田第15地割45番地5

代表者電話番号

0194-78-2502

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社 吉田産業

事務局構成員番号

III-1, V-1, VII-1, VIII-1

事務局担当者名

堀越 勝彦

印

事務局郵便番号

031-8655

事務局所在地

青森県八戸市大字廿三日町2番地

事務局電話番号

0178-47-8111

事務局FAX

0178-47-8121

事務局担当者E-mail

k-horikoshi@yoshidasangyo.co.jp

1. 地域型住宅の名称(必須)	次世代快適住宅「幸せな家」
2. グループの名称(必須)	次世代快適住宅を考える会
3. 直近採択グループ番号(必須)	04-0308-0037
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	岩手県、青森県
5. 結成年(必須)	2014 年
6. グループ代表者名(必須)	林崎 文雄
7. グループ代表者の所属先(必須)	林崎建設 株式会社
8. グループ代表者の構成員番号(必須)	VI-2
9. グループ代表者所在地(必須)	岩手県九戸郡野田村大字野田第15地割45番地5
10. グループ代表者電話番号(必須)	0194-78-2502
11. グループ事務局事業者名(必須)	株式会社 吉田産業
12. グループ事務局の構成員番号(必須)	Ⅲ-1, V-1, VII-1, VIII-1
13. グループ事務局担当者名(必須)	堀越 勝彦
14. グループ事務局郵便番号(必須)	031-8655
15. グループ事務局所在地(必須)	青森県八戸市大字廿三日町2番地
16. グループ事務局電話番号(必須)	0178-47-8111
17. グループ事務局FAX番号(必須)	0178-47-8121
18. グループ事務局担当者E-mail(必須)	k-horikoshi@yoshidasangyo.co.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	1	
II. 製材・集材製造・合板製造	2	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	1	
IV. プレカット	1	
V. 設計	12	
VI. 施工	20	
VII. 省エネルギー設備等の流通	1	
VIII. 木材を扱わない流通	1	
IX. I～VIII以外の業種	3	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の①、②、③の番号を番号記入欄に記入してください。 ① 都道府県の産地認証制度等によるもの ② 民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SCEC等) ③ 林野庁作成の「木材・木製製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)」に基づき合法性が証明されるもの		国内・国外																																																							
				番号記入欄																																																								
	岩手県産材	岩手県	岩手県産材認証制度	1	国内																																																							
<p>B. 平成27年度における補助対象の木造住宅の申請戸数及び地域材加算申請戸数 (必須)</p> <table border="1"> <tr> <td>長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店+未経験工務店の合計</td> <td colspan="2">18 戸</td> <td colspan="2">地域材加算合計</td> <td>18 戸</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">うち経験工務店による長期優良住宅 合計</td> <td>うち申請が確実</td> <td>2 戸</td> <td>うち申請が確実</td> <td>0 戸</td> <td>地域材加算(うち申請が確実)</td> <td>2 戸</td> </tr> <tr> <td>うち申請が未確定</td> <td>4 戸</td> <td>うち申請が未確定</td> <td>12 戸</td> <td>地域材加算(うち申請が未確定)</td> <td>16 戸</td> </tr> <tr> <td>高度省エネ型(認定低炭素住宅) 合計</td> <td colspan="2">1 戸</td> <td colspan="2">地域材加算合計</td> <td>1 戸</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">うち申請が確実</td> <td colspan="2">0 戸</td> <td>地域材加算(うち申請が確実)</td> <td colspan="2">0 戸</td> </tr> <tr> <td>うち申請が未確定</td> <td colspan="2">1 戸</td> <td>地域材加算(うち申請が未確定)</td> <td colspan="2">1 戸</td> </tr> <tr> <td>高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅) 合計</td> <td colspan="2">1 戸</td> <td colspan="2">地域材加算合計</td> <td>1 戸</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">うち申請が確実</td> <td colspan="2">0 戸</td> <td>地域材加算(うち申請が確実)</td> <td colspan="2">0 戸</td> </tr> <tr> <td>うち申請が未確定</td> <td colspan="2">1 戸</td> <td>地域材加算(うち申請が未確定)</td> <td colspan="2">1 戸</td> </tr> </table>						長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店+未経験工務店の合計	18 戸		地域材加算合計		18 戸	うち経験工務店による長期優良住宅 合計	うち申請が確実	2 戸	うち申請が確実	0 戸	地域材加算(うち申請が確実)	2 戸	うち申請が未確定	4 戸	うち申請が未確定	12 戸	地域材加算(うち申請が未確定)	16 戸	高度省エネ型(認定低炭素住宅) 合計	1 戸		地域材加算合計		1 戸	うち申請が確実	0 戸		地域材加算(うち申請が確実)	0 戸		うち申請が未確定	1 戸		地域材加算(うち申請が未確定)	1 戸		高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅) 合計	1 戸		地域材加算合計		1 戸	うち申請が確実	0 戸		地域材加算(うち申請が確実)	0 戸		うち申請が未確定	1 戸		地域材加算(うち申請が未確定)	1 戸	
長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店+未経験工務店の合計	18 戸		地域材加算合計		18 戸																																																							
うち経験工務店による長期優良住宅 合計	うち申請が確実	2 戸	うち申請が確実	0 戸	地域材加算(うち申請が確実)	2 戸																																																						
	うち申請が未確定	4 戸	うち申請が未確定	12 戸	地域材加算(うち申請が未確定)	16 戸																																																						
高度省エネ型(認定低炭素住宅) 合計	1 戸		地域材加算合計		1 戸																																																							
うち申請が確実	0 戸		地域材加算(うち申請が確実)	0 戸																																																								
	うち申請が未確定	1 戸		地域材加算(うち申請が未確定)	1 戸																																																							
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅) 合計	1 戸		地域材加算合計		1 戸																																																							
うち申請が確実	0 戸		地域材加算(うち申請が確実)	0 戸																																																								
	うち申請が未確定	1 戸		地域材加算(うち申請が未確定)	1 戸																																																							
C. 平成27年度における補助対象の優良建築物の申請棟数及び床面積(優良建築物を供給するグループのみ必須)	優良建築物																																																											
	うち申請が確実	棟	m <sup>2</sup>																																																									
	うち申請が未確定	0 棟	m <sup>2</sup>																																																									
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)	実績の無い工務店に対し優先的に配分し、そのうえで受注が確実な工務店を優先する																																																											
E. 平成26年度の執行状況 (H26年度地域型ブランド化事業採択グループのみ必須)	長期優良住宅		完了実績見込み																																																									
	採択戸数	8 戸	交付申請戸数	8 戸																																																								
			竣工済	1 戸	竣工予定 7 戸																																																							
木造建築物																																																												
	採択棟数	0 棟	採択床面積	m <sup>2</sup>																																																								



























1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 次世代快適住宅「幸せな家」	(地域型住宅供給対象地域) 岩手県、青森県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 次世代快適住宅を考える会	(結成年) 2014年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0308-0037	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	主要構造材は岩手県産材の集成材(唐松・杉)を使用し、接合金具を用いたメタルジョイント工法を採用し、耐震等級2以上とする。 冷暖房時の省エネルギー化を図るため、平成25年省エネルギー基準に適合した温熱等級4とする。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	杉・唐松・赤松が豊富にある地域で、構造材としてだけでなく内装材としても積極的に取り入れて、木の温もりや外気温に左右されず適温適湿な住環境を作り、家族が健康で安心して暮らせる家作りを目指す。	○
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	塩害・雪害などの対策として、メンテナンス性の優れた屋根材・外装材を採用する。	◎
④①～③の背景	平成25年、NHKの連続テレビ小説『あまちゃん』で有名になった岩手県三陸海岸北部に位置する当地域は、春先から秋にかけて冷たい海霧を伴った偏東風「やませ」が多発します。 夏は比較的涼しいが「やませ」による塩害対策と、冬は寒さの厳しい地域で、春先の湿った雪による雪害対策が必要な地域です。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入	杉・赤松等の内装材を積極的に取り入れる。	○
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①用材の寸法規格化や建材の統一、標準仕様の設定	メタルジョイント工法を採用することで、工期短縮を図る。	◎
②建材・資材調達の見直しや事務の合理化	メーカー・納材店・工務店と建材及び住設機器の共同購入を行い、コスト削減に取り組む。	◎
③生産の合理化等に向けた委員会等の検討実施体制	合理化対策委員会を設置し、グループとして性能・メンテナンスの容易なものを検討し、品質向上に取り組む。	◎
④生産の合理化等に向けた事務局の役割	新商品の提案と合理化対策委員会の招集、申請手続きのサポートをする。	◎
b.		
①グループの信頼性向上に向けた施工基準の整備	第三者機関を利用し、基礎配筋・躯体金物検査を施工基準とする。	◎
②グループの信頼性向上に向けた検査ルールの設定	地盤調査を実施し結果に応じた地盤補強を行う。	◎
③グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール化	一般ユーザーに対して、わかりやすい見積書を作成する。	◎
④グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	広告媒体を利用し、構造・完成見学会を実施して、長期優良住宅、認定低炭素住宅、ゼロ・エネルギー住宅の費用負担分以上のメリットがあることを一般ユーザーに対してPR活動を行う。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入	今後、新築住宅を建設する場合は、長期優良住宅を標準とし、ゼロ・エネルギー住宅、低炭素住宅、低炭素等建築物(非住宅)については、研修会等を実施し、省エネルギー性に優れた住宅作りを目指す。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 次世代快適住宅「幸せな家」	(地域型住宅供給対象地域) 岩手県、青森県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 次世代快適住宅を考える会	(結成年) 2014年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0308-0037	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①住宅履歴情報の共通管理 診断・点検方法の共通化	物件毎の住宅履歴情報を第三者機関を活用して管理し、定期点検の告知を一般ユーザーにお知らせする。 点検内容については、第三者機関の方法によるものとする。	◎
②メンテナンス・リフォーム 基準の整備	維持管理計画を作成し、計画に基づいて定期点検を実施する。	◎
③住まいの管理・DIY相談会 体験会などの実施	住まいの維持管理に役立つ講習会等を開催し、一般ユーザーに向けてお知らせする。 住宅お手入れの仕方等の小冊子を配布する。	◎
④グループ内における維持 管理検討委員会等の設置	維持管理対策委員会を設置し、グループとして維持管理のための体制及びルール作りを検討する。	◎
b		
①グループ構成員の倒産廃 業時のバックアップ体制	万が一の事態に備え、事務局に相談窓口の機能を整備する。	○
②グループ独自の瑕疵担保 ルールの整備	瑕疵担保履行法に基づく第三者機関への登録をする。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自 のルール・目標があれば記入	事務局に一般ユーザーに向けての相談窓口を開設する。	◎
エ. グループの技術力の向上		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①未経験工務店等への施工 技術研修会等の開催	未経験工務店に設計実務、施工技術に関する勉強会及び外部の研修会を案内する。	◎
②①の研修会等の実施内容 とその開催頻度	年2回開催し、座談会形式の勉強会は必要に応じて開催する。	◎
③総合的な需給計画の策定 等の中長期的な取組	グループ内の施工構成員で、実績のある構成員と実績の無い構成員が混在しているため、実績の無い構成員に対し ての、設計・施工に関する研修会を継続して実施する。	○
④③に基づく業種ごとの合 理化への取組	施工構成員は合理化対策委員会の内容を周知し、技術力向上に取り組む。	○
b		
①省エネ技術講習会への参 加目標人数	現在、施工構成員すべて受講済み。 その他の構成員も含め、10名を追加目標とする。	◎
②省エネ技術講習会への参 加促進のための取組	事務局が省エネ技術講習会等の情報提供を行い、受講者を把握する。	◎
c		
①新たな技術等の導入や開 発の検証のための方法	他地域で活動しているグループの見学及び意見交換会を実施し、技術力の向上を図る。 新たな工法・資材を採用する。	○
②新たな技術等の導入や開 発に向けた実証実験の実 施等	採用した工法・資材について、現場等で確認し情報を共有する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自 のルール・目標があれば記入	グループへ新たに追加登録をする場合、省エネ技術講習会への参加履歴を確認する。	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。



1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 次世代快適住宅「幸せな家」	(地域型住宅供給対象地域) 岩手県、青森県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 次世代快適住宅を考える会	(結成年) 2014年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0308-0037	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①地域材ごとの使用部位(必須)	主要構造材(土台・柱・梁・桁)の必要量を岩手県産材とする。	◎
②地域材ごとの1棟当たりの使用量とその占める割合(必須)	主要構造材の岩手県産材の割合を50%以上とする。	◎
地域材利用に関する共通ルール(必須)	主要構造材は岩手県産材の集材材(唐松・杉)を使用する。	◎
地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	株式会社吉田産業が施工構成員に対して、プレカットを含めて直接販売しており、流通コストの削減に努めている。	
		
b		
①地域材の在庫量や価格情報を把握・共有のための仕組み	各業者が連携して地域材の在庫を確保する。	○
②グループ全体における地域材の需給予測	各施工業者の工期を事務局が把握・情報共有し、地域材を確保する。	○
c		
①-1 量の活用	地元の業者を積極的に活用する。	○
①-2 和瓦の活用	地元の業者を積極的に活用する。	○
①-3 襖の活用	地元の業者を積極的に活用する。	○
①-4 障子の活用	地元の業者を積極的に活用する。	○
②その他地域の伝統的な素材や意匠の活用	地元の業者を積極的に活用する。	○
d		
①地域の伝統的なデザインを継承する取組	伝統的なデザイン・技術を継承するため、熟練した職人から技術を学ぶ場を作る。	○
②地域の住まい方の継承につながる取組	家族が集える場をつくる。	○
③地域の街並み形成へ寄与する取組	景観に配慮した家づくりを心掛ける。	○
④和の住まいの要素を取り入れた取組	和室を積極的に提案する。	○
その他	杉・赤松等の内装材を積極的に取り入れる。	○

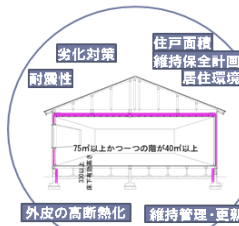
その他

【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	当グループは被災地のため、グループ一丸となり、復興住宅建設に寄与する。被災者に向けて、補助金等の情報を提供する。	◎

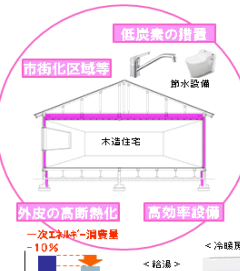
グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。  
※申請に係る認定低炭素住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物型の性能や特徴等について記入してください。


**長期優良住宅**



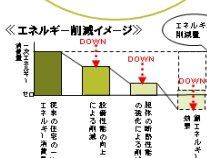
**認定低炭素住宅**



**ゼロ・エネルギー住宅**



《エネルギー削減イメージ》



※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。